

最先端研究と市場ニーズを結びつけるための 京大式 Think-up Camp! 人と機械が協働するための 理論づくりとインターフェイス **on-line**

〈京大式Think-up Camp〉は、京大研究者が有する最先端の知見・シーズとオモイエル(株)の「Solution Structure」という考え方をを用いて、企業のみならず新たな市場ニーズや研究開発テーマを探索できるセミナーのシリーズです。

今回のテーマは、中西弘明講師(京都大学大学院工学研究科機械理工学専攻)をお迎えし、「人と機械が協働するための理論づくりとインターフェイス」というテーマで実施します。

私たちの周りでは、例えばドローンを物流や農薬散布に活用するといったように、人の作業負担を軽減するためにさまざまな機械技術の導入が検討されています。しかし、複雑な作業となると機械による自動化はまだ十分ではなく、人の介入が不可避です。すなわち、人と機械が互いの不足を補い合い、「協働」するための理論づくりとインターフェイスが重要となるのです。また、ビジネスとして企業が製品サービスの中に機械を活用する際には、そもそもその製品サービスが世の中で必要とされているのを見極めることも重要となります。

本セミナーでは、中西講師が取り組む自律型ロボットの研究開発、特に自律型無人ヘリコプタの開発とその安全・防災活動への適用の話題などを交え、機械を活用した製品サービスが求められる背景や目的と、そのための制御がどこまでできるのか、をご紹介します。また、オモイエル(株)が開発している思考法やツールをご紹介します。意義ある製品サービスを創るには何が課題となるのかをみなさまと共に考えます。

企業の経営企画・新規事業・R&D部門の方や、アカデミアの知見を取り入れながらの共同研究にご興味のある方は是非ご参加ください。



日程 2023. **3.9** **木**
14:00~15:45

方式 **オンライン**
(Zoomウェビナー)

スケジュール

- 14:00~14:05 イントロダクション
- 14:05~14:55 講演
「人と機械が協働するための
理論づくりとインターフェイス」
京都大学大学院工学研究科 講師 中西 弘明
- 14:55~15:25 講演
「製品サービスを生み出す・見つめ直すための思考法」
オモイエル株式会社代表取締役 CEO 近田 侑吾 氏
- 15:25~15:45 質疑応答

■ 定員 100名程度

■ 参加費 無料

■ 申込・詳細

<https://www.kyodai-original.co.jp/?p=17908>



■ 申込締切 先着順(定員になり次第、締め切ります)

※オモイエルによるオンラインワークショップ、講師との個別面談もご希望に応じて後日設定予定。

主催 京大オリジナル株式会社

共催 京都大学産官学連携本部
オモイエル株式会社

問合せ 京大オリジナル株式会社
プロジェクトマネジメント部
TEL:075-753-7778
E-mail:kensyu@kyodai-original.co.jp

中西 弘明

京都大学大学院 工学研究科 機械理工学専攻 講師



京都大学大学院工学研究科修士課程航空工学専攻修了後、日本電気株式会社に勤務。その後、京都大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻助手を経て、現在に至る。航空宇宙工学専攻時代より学習や適応システム、インテリジェント制御およびその無人ヘリコプタの自律飛行制御、その安全・防災活動への適用に関する研究を行っているが、機械理工学専攻に移ってより熟練者技能の動作解析法、ハイブリッドシステムモデルに基づく操作解析などヒトと機械の協働のための研究にも取り組んでいる。京都大学博士(工学)。

講師から一言

昨今、飛行するロボットであるDrone(無人航空機)が注目されている。Droneは国内外で軍用、ホビー用、農業用から開発が始まり、現在でもその用途拡大を達成すべく、さまざまなアプローチで研究開発がなされている。本講演では、Droneの特性や自律制御に関するこれまでの研究について説明し、Droneが人に役立つ仕事をなすためにどうあるべき、どのように実現されるか?を議論する。

オモイエル株式会社について

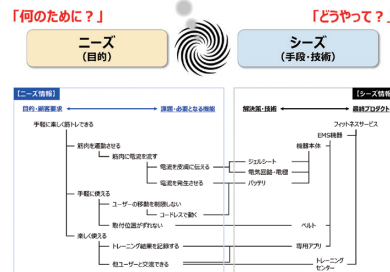


ニーズとシーズをつなぐ「思考」「調査」「場づくり」をサービスの軸とし、プロダクト開発に関わる企業や起業家が想いを得る/想いを言える(おもいえる)ことを支援。これまでに70社・200テーマ以上の製品・サービス開発プロジェクトに携わる。

- 取引実績: 本田技術研究所、ヤマハ発動機、花王、東レ、豊田合成、竹中工務店など
- 所在地: 東京都千代田区東神田1-15-9
- HP: <https://www.omoieru.co.jp/>



プロダクトの世界観・コンセプトを描く



ニーズとシーズをつなぐ思考法 Solution Structure

Solution Structureは、ニーズとシーズすなわち「何のために?」と「どうやって?」についての情報を構造化し、それらの関係性を可視化することで、開発するプロダクトの世界観・コンセプトをブラッシュアップする思考法です。オモイエルでは、情報の関係性を整理するWebツール IdeaEDGEの提供も行っています。

京大式 Think-up Camp とは!

3,000名以上の京大研究者のうち、知的財産に結びついているのは200名程度のみであり、未だ知られていないが、社会実装できる研究成果も多数存在。そのため、「Solution Structure」という仕組みで市場ニーズとの関係性を可視化し、企業との共同研究、知財化、社会実装を目指していくための講座です。

【注意事項】

■Zoomの仕様や使い方に関するお問い合わせには、お答えしかねます。また、お客様の環境等が原因で発生した、視聴できないといったトラブルにつきましては個別の対応はございません。予めご了承ください。

■次の行為はお控えください。

- ・本セミナーの全部または一部を第三者に提供する行為
- ・本セミナーの録音、録画、撮影、その他複製行為
- ・同時に二台以上のデバイスで本サービスを利用する行為

京大オリジナル株式会社

京大オリジナル株式会社は、京都大学が100%出資した事業子会社で、研修講習事業とコンサルティング事業を行っています。弊社の収益の一部は京都大学に還元され、最先端の研究などに活用されます。

京大オリジナル(株)のイベントはこちら

https://www.kyodai-original.co.jp/?page_id=2180



京大の産学連携情報プラットフォーム「Philo-(フィロ)」はこちら
<https://philo.saci.kyoto-u.ac.jp/>

